

栄区囲碁普及会の歴史



- 1 成り立ち
- 2 主たる動向
- 3 創立時以来の会員名簿
(ホームページの創立20周年記念誌と会員専用ページを参照)
- 4 年度別役員一覧
(ホームページの創立20周年記念誌と会員専用ページを参照)
- 5 年度別会員及び受講生推移
(ホームページの創立20周年記念誌と会員専用ページを参照)

平成28年(2016年)6月15日 作成

令和5年(2023年)6月3日 更新

1 成り立ち

平成13年当時の栄区の囲碁事情は、各自治会や囲碁仲間の同好会はそれなりの活動をし、栄区囲碁連盟の主催する区民大会の参加者も増加の傾向にあったが、女性は勿論、若い世代の参加者等は皆無に等しかった。

H13.08 (2001)

栄区囲碁連盟の目的のひとつであった囲碁の普及活動が進まないことに危惧していた市田勝一氏(副会長)、区内の事情に精通していた囲碁普及指導員の関口正俊氏、区内で囲碁親子教室を開きながら子供への普及に努めていた囲碁普及指導員の鶴田郁夫氏の3氏が発起人となり栄区囲碁普及会の創立を起案。

H13.09.29 (2001)

栄区囲碁普及会の創立の主旨に賛同の栄碁クラブ、本郷台自治会、栄区囲碁連盟幹事等のメンバーが参加し発足の運びとなった。(一般会員 19名 賛助会員 16名)

2 主たる動向

H13.10 (2001) 栄区囲碁普及会創立。鶴田郁夫氏栄区囲碁普及会会長に就任。

H13. 親子囲碁教室にインストラクター派遣、協力

H13. 小学校をまわり、はまっ子スクールへの囲碁普及活動

H14.07 (2002) はまっ子スクールへの囲碁普及活動 区内 全16校に展開

H14.07 本郷台祭り 街頭普及で囲碁のブース設置

H14.11 上郷せせらぎ交流会(現 三世代交流会)に参加 現在に至る

H15.10 (2003) 関口正俊氏栄区囲碁普及会会長に就任

H16. (2004) シニアクラブ連合会・囲碁将棋大会の運営に協力(～24年の8年間)。

H16.07 第1回栄こどもとおとなの囲碁大会開催(参加者:子供43大人26)

H16.10 本郷土曜教室開講(一期6か月・子供を除き在籍期間1年)本郷地区センター

H16.10 第1回級位認定会開催

H17.08 (2005) 連絡会で教室OB会(現楽碁会)の必要性が討議される

H17.04 本郷土曜教室・上達コース開講

H17.04 本中日曜教室・入門初級コース開講(鶴田親子囲碁教室引き継ぎ)

H17.07 第5回級位認定会において第1号の初段格誕生 栃木康希君(小学5年)

- H17.10 本郷水曜教室・上達コース開講
- H17.10 桂台日曜教室・入門初級コース開講（後に本小日曜教室と改称）
- H17.10 **本郷楽碁会（囲碁教室修了の段級位者の会）発足.**
- H17.12 第8回級位認定会において女性初の初段格誕生 岸川津弥子さん
- H18.02 (2006) 創立5周年。会報「さかえの石音」1号発行。
- H18.04 豊田水曜教室・上達コース開講（豊田地区センター）
- H18.04 受講生の在籍期間を2年に延長
- H18.04 豊田日曜教室・入門初級コース開講
- H18.10 上郷金曜教室・上達コース開講（上郷地区センター）
- H18.10 **上郷楽碁会発足**
- H18.11 栄区文化協会主催の囲碁まつりに参加協力、囲碁教室を開講
- H19.04 (2007) **アミー碁（10級以下の囲碁を楽しむ会）発足**
- H19.07 第3回栄こどもとおとなの囲碁大会開催(以後開催日を海の日に固定)
- H19.10 **日本棋院横浜栄支部発足**
- H20. (2008) 栄区、栄区文化協会主催「何でも知り隊・アート知り隊囲碁部門」に参加（～22年）
- H20.10 **豊田楽碁会発足**
- H21.04 (2009) 入門初級コーステキストとして栄区囲碁普及会版「入門テキスト」使用開始
- H21.07 第5回こどもとおとなの囲碁大会開催（認定状は委員長名で発行）
- H21.10 杉浦次利氏栄区囲碁普及会会長に就任
- H22.02 (2010) 鎌倉子供囲碁大会に小中学生26名が参加（現在まで交流続く）
- H22.04 本小日曜教室を上郷地区センターに移設 呼称を上郷日曜教室と改称
- H22.04 上達コーステキストとして栄区囲碁普及会版「上達コーステキスト」使用開始
- H22.04 1期を12か月とし、教室在籍期限を3年に変更
- H23.04 (2011) 創立10周年。10級以上の入門・初級コース受講生は上達コースの認定会を受けることに変更。
- H23.07 第7回こどもとおとなの囲碁大会開催（鎌倉子供囲碁教室との交流開始）
- H24. (2012) 栄公会堂の「はじめての囲碁体験」講座に講師派遣（～現在に至る）
- H24.04 上達コーステキストとして改定版「上達コーステキスト」使用開始
- H24.04 初級コース認定会で資格を得た受講生の期途中での上達コースへの移籍を認める
- H24.04 教室在籍期間は3年とするが、教室の定員に満たない場合は3年を過ぎた者も受け入れ
- H24.07 **日本棋院横浜栄支部「創立5周年の集い」開催**
- H25.04 (2013) 上達コースの認定会の回数を6回から4回に変更。
- H26.05 (2014) 栄区囲碁普及会のホームページ開設
- H26.07 第10回栄こどもとおとなの囲碁大会開催
- H27.04 (2015) **楽碁会・本郷部会10周年記念を祝う**
- H27.04 会員からの会費徴収廃止
- H27.05 栄区囲碁普及会第4代会長に牧野博氏就任
- H27.05 会員証を作成配布（対象 115名）
- H27.09 日本棋院横浜栄支部主催の囲碁フェスタ2015 さかえに共催参加
- H28.03 (2016) 創立15周年記念として碁盤15セットを本郷地区センターに寄贈
- H28.04 本郷日曜教室・上達コース開講（全8教室となる）
- H28.04 入門テキスト（9路盤）改定3教室統一運用開始

- H28.04 9路盤の認定会での認定廃止、インストラクターの推薦方式に変更
- H28.07 第12回栄こどもとおとなの囲碁大会創立15周年記念大会として開催
- H28.08 4学校でプロ棋士による囲碁教室開催（飯島小・豊田小・本郷小・横浜栄高）
- H28.09 囲碁フェスタ2016さかえにおいてプロ棋士2名による囲碁普及会受講生対象に指導碁・特別囲碁講座開催（栄区囲碁普及会・棋院横浜栄支部共催）
- H28.12 創立15周年記念事業「囲碁川柳」応募には283句もの投稿があり、秀逸作品、佳作作品等32句を表彰した。またこれら283句を句集としてまとめ、会員及び受講生に配布。
- H29.03 (2017) 入門・初級コースおよび上達コース修了式実施、年度初段獲得者14人、初級から上達コースへの昇級者19名
- H29.04 保護者の会「いちごの会」発足
- H29.04 情報紙「いちご通信」創刊号発行
- H29.07 第13回「栄こどもとおとなの囲碁大会」開催。NHKの取材を受ける。棋院横浜栄支部の協力を得て、蘇耀国プロ棋士による入門教室及び保護者との座談会開催。
- H29.08 3地区センター主催の「夏休みこども囲碁教室」に協力
- H29.09 栄区囲碁普及会の活動が栄区街づくり協働推進事業の一つとして取り上げられ栄区より補助金を受ける
- H29.09 NHK囲碁番組「囲碁フォーカス」で栄区の囲碁活動放映
- H29.09 栄区区長及び地域振興課の職員と意見交換会開催
- H29.09 **日本棋院横浜栄支部創設10周年記念「囲碁フェスタ」開催又、記念誌発行**
- H29.12 日本棋院より普及活動を称え、栄区囲碁普及会に感謝状
- H30.03 (2018) 入門・初級コースおよび上達コース修了式実施、年度初段獲得者15人、初級から上達コースへの昇級者11名
- H30.03 日本棋院より普及活動に対し栄区囲碁普及会会長に表彰状授与
- H30.05 栄区囲碁普及会第5代会長に三箇豊氏就任
- H30.06 鎌倉子供囲碁教室に講師派遣。H31.04に生徒が10人に達し開講式を実施
- H30.06 インストラクター研修資料（21頁）を作成。各教室でインストラクター研修会を実施
- H30.07 第14回「栄こどもとおとなの囲碁大会」開催。
- H30.07 上達コーステキストに囲碁AIを追加し、100冊のテキストを作成
- H30.10 飯島土曜教室（入門・初級コース）が開講した。栄区囲碁普及会の9つ目の教室
- H31.03 (2019) 会則の役員人事規定を補足する役員人事規約を制定
- H31.03 栄区シニア連合囲碁大会の運営協力を再開
- H31.03 さかえ活動センター自主事業「超入門囲碁教室」の運営協力。7名が受講生となる
- H31.03 入門・初級コースおよび上達コース修了式実施、年度初段獲得者22人、初級から上達コースへの昇級者10名
- H31.04 本郷日曜教室は本郷日曜子供教室に改編
- R01.05 5月実施の第76回上達コース認定会から11月実施の第78回上達コース認定会までは予定通り実施された。5月実施の21期第1回入門・初級コース認定会から令和2年1月実施の21期第4回入門・初級コース認定会までは予定通り実施された。
- R01.07 第15回「栄こどもとおとなの囲碁大会」開催

- R01.07 インストラクター研修会を実施。18期から20期までの新任会員24名を含む合計50名の会員が参加
- R01.07 本郷、上郷、豊田地区センターの「夏休みこども囲碁教室」が毎年実施され定着
- R01.08 プロ棋士招聘の小学校夏休み囲碁教室が3小学校で開催
- R01.09 (2019) 上達コーステキストで間違いが発見された場合の対応・手続きが幹事会で決定
- R01.09 本郷（5月）、上郷（9月）、豊田（10月）地区センターのまつりの囲碁コーナーが毎年実施され定着
- R01.10 第1回入門・初級19路盤テキスト委員会がスタート
- R01.11 本郷日曜子供教室で子供を対象に初段以上の二段、三段を目指す有段コースを令和2年4月から立ち上げることを決定
- R02.03 (2020) 栄区囲碁普及会の教室は令和2年3月、新型コロナウイルスの影響で休講
- R02.03 第79回上達コース認定会が新型コロナウイルスの影響で中止
- R02.03 21期第5回入門・初級コース認定会が新型コロナウイルスの影響で中止
- R02.03 栄区囲碁普及会修了式もコロナウイルスの影響で中止
年度初段獲得者4人、初級から上達コースへの昇級者9名
- R02.03 入門・初級19路盤テキストのマスター完成
- R02.04 栄区囲碁普及会の22期囲碁教室は9月まで新型コロナウイルスの影響で休講
以下のイベントも新型コロナウイルスの影響で中止
- ・栄区囲碁普及会開講式の中止
 - ・栄区囲碁普及会総会はPCメールおよび郵送による資料送付・賛否の議決により実施
 - ・第80及び81回上達コース認定会の中止
 - ・22期第1回及び2回入門・初級コース認定会の中止
 - ・第16回「栄こどもとおとなの囲碁大会」の中止
 - ・本郷、上郷、豊田地区センターの「夏休みこども囲碁教室」の中止
 - ・プロ棋士招聘の3小学校夏休み囲碁教室の中止
- R02.05 インターネットによる囲碁普及活動として「呼びかけの碁」のネット対局が普及
- R02.06 入門・初級コース&上達コース19路盤テキストの作成・在庫管理・マスター原紙管理等の業務分担の決定
- R02.10 コロナ禍で9月まで休講とされた22期囲碁教室は継続して休講となり、最終的に令和4年（2022年）3月まで休講。コロナ禍で休講になって以降各教室で自主教室が開催され、令和4年（2022年）3月まで続いた。
- R02.11 「コロナ禍の時代に囲碁を楽しむ」をテーマにインターネットの囲碁サイトを紹介した会報「さかえの石音」38号を発行
- R03.03(2021) コロナ禍で教室が休講中の暫定措置として以下の新昇級制度を制定
- ・入門・初級コースは教室チーフの裁量により昇級を承認
 - ・日本棋院の紙上認定段級位を承認
 - ・栄区ネット囲碁大会で3勝及び2勝1敗の成績優秀者は申請級より1級上を認定
- R03.06 栄区囲碁普及会創立20周年記念誌の編集委員会の立ち上げ
- R03.08 栄区囲碁普及会、日本棋院横浜栄支部及び栄区囲碁連盟の有志が栄区ネット囲碁推進協議会を結成し、第1回栄区ネット囲碁大会を開催。11月に第2回大会を開催。
- R03.11 栄区囲碁普及会創立20周年記念誌を発行

- R04.04(2022) 全ての囲碁教室は令和2年(2020年)3月に休講して以来2年1ヶ月振りに開講。開講式は入門・初級コース及び上達コースともに教室別を実施。
- R04.05 栄区囲碁普及会総会はコロナ禍中メールで実施されたが、3年振りに通常の形で実施
- R04.05 上達コース認定会を令和元年(2019年)11月以来2年半振りに実施
- R04.05 入門・初級コース認定会を令和2年(2020年)1月以来2年4ヶ月振りに実施
- R04.06 第43回文科大臣杯少年少女囲碁大会の神奈川県大会で本郷日曜子供教室の宮地陽哉君と中山翼君が優勝、準優勝を獲得
- R04.07 第18回栄こどもとおとなの囲碁大会を令和元年(2019年)7月以来3年振りに開催
- R04.07 豊田地区センターの夏休みこども囲碁教室が3年振りに開催された
- R04.08 本郷小学校のキッズ夏休み囲碁教室が3年振りに開催された
- R04.09 会報「さかえの石音」39号を2年振りに発行
- R04.10 豊田地区センターまつりで囲碁体験コーナーを3年振りに開設
- R04.11 GRAND SHIP 大船の囲碁イベントが初めて開催された
- R04.11 第26回ジュニア本因坊神奈川県大会で本郷日曜子供教室の中山翼君と宮地陽哉君が優勝、準優勝を獲得
- R05.02(2023) 女流アマ選手権神奈川県予選で本郷日曜子供教室の村上明日香さんが優勝
- R05.02 人気囲碁番組「棋力向上委員会 The PASSION!!」に本郷日曜子供教室の中山翼君が参加し、最終の棋力認定テストで林漢傑八段に3子で勝ち、7段を認定された。